

一年国語教室通信

大江健三郎氏と一緒に考える

「学校に行く意味」2

始業式で、二年生らしい落ち着きのある態度を見せてくれた皆さん、成長した姿がまぶしかったです。

さて、前号で、ノーベル賞作家である大江健三郎氏の言葉を紹介しました。

もう一つ、大江健三郎氏は、「なぜ子供は学校に行かねばならないのか」に答えを書いてくれています。それは、「吟味された言葉」にも登場していた息子、光さんの存在から生み出された答えです。

光さんは脳に障害を持つて生まれました。が、音に対する感覚が非常に優れていて、鳥の声を聞き分けたり、クラシック音楽に非常に興味を示したりする子供でした。そしてピアノを習い、十三歳のころには作曲を始めます。その曲は多くの人に聴かれるようになり、さまざまな賞を受賞しました。

光さんは七歳の時に障害を持った子が通う学級に通い始めましたが、教室の中ではいつも両手で耳を塞ぎ、体を固くしているだけでした。それを見て大江氏は「光はなぜ学

校に行かねばならないのだろう。」と疑問を抱きます。けれども、その問題を解いたのは、光さん自身でした。光は「特殊学級」に入つてしまはらくたつと、自分と同じように、大きい音、騒音が嫌いな友達を見つけました。そしてふたりは、いつも教室の隅で手を握りあってじつと耐えている、ということになりました。

さらに、光は自分より運動能力が弱い友達のために、トイレに行く手助けをするようになりました。自分が友達のために役にたつ、ということは、家にいるかぎり、何もかも母親に頼っている光にとって、新鮮な喜びになりました。そのうち二人は、他の子供たちから離れたところに椅子を並べてFMの音楽放送を聞くようになりました。

そして、一年もたつと、光は、鳥の歌よりも、人間の作った音楽が、自分にはさらによくわかる言葉だ、と気がついていったのです。

ほんどのいつも黙っている二人は、お互いの間では音楽を通して言葉を交わし、成長していきました。そして、養護学校を卒業する日を迎えます。

その卒業式のパーティで、明日からもう学校はないと言ふ。不思議だなあ、といいました。

するとその友達も、

「不思議だねえ、と心をこめていい返したのでした。ふたりとも驚いたような、それでいて静かな微笑を浮かべて。

すでに作曲するようになつていた光さんのために、大江氏はこの会話をもとに詩を書き、光さんは曲をつけました。その曲が発展した「卒業・ヴァリエーションつき」は多くの演奏会で聴かれていました。

大江氏は、こう締めくくりました。

いま、光にとつて、音楽が、自分の心のなかにある深く豊かなものを確かめ、他の人につたえ、そして自分が社会につながっていくための、一番役にたつ言葉です。それは家庭の生活で芽生えたものでしたが、学校に行つて確実なものとなりました。国語だけじゃなく、理科も算数も、体操も音楽も、自分をしつかり理解し、他の人とつながってゆくための言葉です。外国语も同じです。そのことを習うために、いつの世の中でも、子供は学校に行くのだ、と私は思います。

（「『自分の木』の下で」朝日新聞社より）

学校に通えない日々、一人で問題に取り組む日々が続きました。「早く学校に行きたいな。」と誰もが思つたこと

でしょう。学校という場所の持つ意味、役割、輝き…私自身も改めて考える日々となりました。

頭の体操

次の空欄に漢字を一つ入れて、上から真ん中、真ん中から下、左から真ん中、真ん中から右と四つの熟語を作ります。

①試□堂 ②野□花 ③全□首
事 書 屋
美 藥 軍

④外□境 ⑤清□類 ⑥當□心
歌 留 春
開 願 最

難読漢字

②③⑦⑧⑨は超難問！

*ヒント「ひ」～「」で始まる動詞

①捻る ②縕く ③素見す ④閃く ⑤翻る
⑥塞ぐ ⑦巫山戯る ⑧謙る（遜る） ⑨穿る ⑩逆る

頭の体操 漢字クイズ 答え

- ① 食 (試食・食堂・美食・食事)
- ② 草 (野草・草花・薬草・草書)
- ③ 部 (全部・部首・軍部・部屋)
- ④ 国 (外国・国境・開国・国歌)
- ⑤ 書 (清書・書類・願書・書留)
- ⑥ 初 (当初・初心 しょしん (うぶ) 最初・初春)

難読漢字

- ① ひねる ② ひもとく ③ ひやかす ④ ひらめく
- ⑤ ひるがえる ⑥ ふさぐ ⑦ ふざける ⑧ へりくだる
- ⑨ ほじくる ⑩ ほとばしる